

2008年 第40回 日本オプティミストセーリング選手権大会  
兼 2009年度 JODAナショナルチーム第一次選考会  
帆走指示書 (S I)

この帆走指示書では以下の略称を使用する：

- ・ JODA：日本オプティミスト・ディンギー協会
- ・ RC：レース委員会
- ・ RRS：セーリング競技規則 2005-2008年版
- ・ NOR：レース公示
- ・ S I：帆走指示書

## 1. 適用規則

- 1.1 本大会は、RRSに定義された「規則」を適用する。但し、このS Iで変更された部分は除かれる。  
NORとS Iに矛盾が生じた場合は、S Iを優先する。
- 1.2 選手は大会主催団体が要請した場合には艇体に広告を表示しなければならない。（添付 5 図 「広告表示」参照）

## 2. 選手への通告

- 2.1 選手への通告はレース・オフィス前に設置する公式掲示板に掲示される。

## 3. 帆走指示書への変更

- 3.1 S Iの変更は、それが有効となる日の8：00時までに掲示する。但し、レース日程の変更については実施日の前日の17：00時までに掲示される。

## 4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上の信号は公式掲示板付近に設置されたフラッグポールに掲揚する。
- 4.2 『D』旗が音響1声と共に掲揚された場合には「選手はレース・エリアに向かいなさい。最初の予告信号は『D旗』掲揚の30分以降に発せられる。」ことを意味する。注：選手は、『D旗』が掲揚されるまでハーバーを離れてはならない。
- 4.3 『D旗』が掲揚されない場合には、その日のレース又は次のレースのスタート時刻は延期されていることを意味する。

## 5. 海上で発せられる信号

- 5.1 スターティング・ライン又はフィニッシング・ラインに位置するRC艇、またはその他のRC艇に『N/H』旗、『N/A』旗、『AP/H』旗、『AP/A』旗が掲揚された場合には、全艇直ちに帰港しなければならない。

5.2 レース信号旗がディビジョン旗の上に掲揚された場合には、そのディビジョンのみ適用されることを意味する。

## 6. レースの日程

### 6.1 日程

10月30日(木)	早期到着日	13:00~17:00	大会受付 計測
10月31日(金)	公式到着日	8:00	大会受付 計測
		10:30	開会式 スキッパーズミーティング
		12:55	その日の最初のレースの予告信号
11月1日(土)		8:55	その日の最初のレースの予告信号
11月2日(日)		8:55	その日の最初のレースの予告信号
11月3日(月)	最終日	8:55	その日の最初のレースの予告信号

6.2 本大会は 12 レースを予定する。

6.3 1日に行われるレースは 5 レースを超えることはない。

6.4 最終日のレース（先行するディビジョンレース）の予告信号は12:00以降に発せられることはない。

## 7. レースの構成

7.1 本大会のレースは、フリートを 4つのディビジョンに分けて、各ディビジョンが対戦する 2つのディビジョンレースの成立を以って1レースとする。

7.2 各艇のディビジョンは全艇を（1）の最初の艇から（2）の最後の艇まで1, 2, 3, 4 ・ 4, 3, 2, 1の順番で割り当てられる。但し、海外オープン参加の選手は除かれる。

（1） 本年の最終選考会成績順に振り分けられる。

（2） 参加フリート（フリート内では生年月日の早い順に）を北から順に振り分けられる。

## 8. クラス旗

8.1 クラス旗は下記のディビジョン旗とする。尚、ディビジョン旗は各ディビジョン色にDの表示旗とする。

8.2 各艇は、クラス旗を意味する下記のディビジョン・リボンをスプリットの先端に確実にとり付けること。

（添付 6 図 「ディビジョン・リボン表示」 参照）

ディビジョン	ディビジョン旗/ディビジョン・リボンの色
1	赤
2	黒
3	白
4	緑

## 9. レース・エリア

添付 1 図 「レース・エリア」 参照のこと。

## 10. コース

- 10.1 コース・各レグ間の、おおよその角度・マーク回航の順番は添付2図「コース」参照のこと。
- 10.2 第1マークのおおよそのコンパス方位はスターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に掲示する。

## 11. マーク

- 11.1 マーク 1、 2、 3 はオレンジ色円筒形ブイとする。
- 11.2 スターティング・マークはスターティング・ラインの両端のRC艇とする。
- 11.3 フィニッシング・マークはスターボード・エンドのRC艇とポート・エンドの黄色円筒形のブイとする。
- 11.4 S I - 1 3に規定するコース変更の信号を発しているRC艇はマークとする。

## 12. スタート

- 12.1 各ディビジョンのスタート順序および組み合わせを示す表は添付3表「スターティング日程表」を参照のこと。  
但し、レースの進行上の都合でスタートの順序が代わることがある。
- 12.2 スターティング・ラインは、スターティング・マーク（両端のRC艇）上で「オレンジ旗」を掲揚しているポールまたはマストの間とする。
- 12.3 スタート信号から4分を経過した後にスタートしようとする艇はスタートしなかった艇（DNS）として記録される。これはRRS A 4. 1を変更している。
- 12.4 予告信号が未だ発せられていない艇は、スターティング・エリアを離れ、スターティング・ラインのスターボード・エンドの外側の風下側に設けられたウェイティングエリアで待機しなければならない。（添付2図「コース」参照）
- 12.5 RRS 30. 3（黒色旗規則）が適用されたレースのスタート後、ゼネラルリコール信号が発せられた場合またはレースが中止となった場合には、規則に違反した艇のセールナンバーをスターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に掲示する。
- 12.6 海上において引き続きレースが行われる場合には、次のスタートのプレ信号として、スターティングラインに位置するRC艇は予告信号の4分前までに音響信号1声と共にオレンジ旗を掲揚する。

## 13. 次のコース・レグの変更

- 13.1 フィニッシング・ラインに限り、その位置を変更して、最終コース・レグ変更することがある。
- 13.2 フィニッシング・ラインの位置を変更する場合は、3マーク付近に位置するRC艇より、新しいレグに艇が入る前に反復音響信号と共にC旗を掲揚する。
- 13.3 RC艇にフィニッシング・ラインのおおよそのコンパス方位を掲示する。但し、新しいレグの長さについては、変更されても、「+」（延長）または「-」（短縮）の掲示はされない。これはRRS 33を変更している。

## 14. フィニッシュ

- 14.1 フィニッシング・ラインは、スターボード・エンドのRC艇の『オレンジ色旗』を掲揚しているポール

またはマストとポート・エンドの黄色円筒形ブイの間とする。

- 14.2 フィニッシュした艇は、レース中の艇、および予告信号が発せられている艇を避けて、直ちにウェイティングエリアへ戻らなければならない。この規定に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、その違反の直前のレースまたは、同レースを含む以降のレースについて、失格となるか、またはその他の措置が取られることがある。

## 15. ペナルティー方式

- 15.1 RRS 31.2 および 44.1 の違反によりペナルティーを履行した艇またはリタイアした艇は、その旨を抗議締切時間までにレース・オフィスにある確認書（報告書）に記入しなければならない。
- 15.2 RRS 付則 P を適用する。
- 15.3 RRS 42 の違反（付則 P）以外の違反についてはプロテスト委員会はレースを監視する。プロテスト委員会が違反を目撃した場合にはプロテスト委員会は音響信号 1 声を発する。但し、セール番号の呼びかけはしない。これは「プロテスト委員会が抗議すべき状況を目撃した。1 艇または 2 艇以上が回転ペナルティーを履行しなければならない。」ことを意味する。

## 16. タイムリミット

トップ艇のフィニッシュから 15 分以内にフィニッシュしなかった艇は DNF と記録される。これは RRS 35 および A4.1 を変更している。

## 17. 抗議および救済の要求

- 17.1 艇が抗議する場合には、RRS 61 および RRS 62 に従って、行なわなければならない。
- 17.2 艇が海上において抗議する場合には、赤色旗の掲揚を必要とし、レース中は目立つように赤色旗を掲揚しなければならない。又、フィニッシュ直後に、抗議の意志と被抗議艇のセール番号を B 旗を掲げた RC 艇が確認するまで口頭で伝えねばならない。これは、RRS 61.1 (a) を変更している。
- 17.3 RC またはプロテスト委員会による抗議の通知方法は、【・・・・レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、その艇に伝えなければならない。】を【・・・・レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、公式掲示板に掲示しなければならない。】に変更する。これは RRS 61.1 (b) を変更している。。
- 17.4 抗議用紙はプロテスト（又はレース）・オフィスより入手し、抗議締切時間までに提出しなければならない。
- 17.5 抗議締切時間は、その日の最終レース終了 60 分後とし、その時刻は公式掲示板に掲示される。
- 17.6 審問の当事者および証言者の氏名と審問開始時刻は、抗議締切時間から 20 分以内に公式掲示板に掲示する。
- 17.7 S I - 15.2 により、RRS 42 の違反を認めた艇またはプロテスト委員会により失格とされた艇は、抗議締切時間までに公式掲示板に掲示される。
- 17.8 大会最終日における審問再開要求の締切時間は：
- (a) 再開を要求する当事者が最終日の前日に判決を知らされていた場合には最終日の抗議締切時間とする。

(b) 再開を要求する当事者が最終日に判決を知らされた場合には、その判決から30分後の時間とする。これはRRS66を変更している。

17.9 SI-1.2、12.4、19、23、24 および 25の違反は選手による抗議の理由にはならない。これはRRS60.1(a)を変更している。

## 18. 得点方式

18.1 RRS付則Aの低得点方式を適用する。

18.2 本大会のレースの得点は全艇が参加する2つのディビジョンレースが成立した場合に限り与えられる。(SI 7.1参照。)

18.3 本大会は3レースの完了をもって成立とする。

18.4 (a) 成立したレースが5レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。

(b) 成立したレースが6レース以上9以下の場合には、最悪の得点を除外した合計得点とする。

(c) 成立したレースが10レース以上の場合には、最悪の得点と次に悪い得点を除外した合計得点とする。

18.5 SI-19.3、19.4の違反によりペナルティーを受けた艇の得点はDNFの得点より悪くなることはない。

18.6 NOR-10.1、SI-19.3、19.4のペナルティーの略語は、PFP (Penalty of Five Points) とする。

18.7 NOR-10.1、SI-19.3、19.4の違反によりペナルティーを受けた艇のセール番号は抗議時間内に掲示される。

## 19. 安全規定

19.1 レースをリタイアする選手は、その旨をRCに速やかに報告しなければならない。

19.2 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40を変更している。

19.3 選手は笛を救命胴衣にラニヤードで確実に取り付けておかねばならない。

19.4 艇にはブレードの面積が0.025 m<sup>2</sup>以上のパドルをラニヤード又は弾性コードで確実に取り付けておかねばならない。

19.5 上記19.2~19.4の規定およびクラス規則3.3.4、4.2(a)・(b)、4.3(a)・(b)に違反した場合には選手の得点は、違反が認められたレースについて、審問を経ないでペナルティーとして5点加算される。

19.6 チーム・リーダー(監督)は、選手が出艇または帰着した際には、選手に代わって申告用紙に出艇または帰着のサインをしなければならない。この規定に違反した場合には、この違反が認められたチームの選手全員の得点は、違反した日の全レースの得点について、審問を経ないでペナルティーとして5点加算される。

19.7 救助を必要とする選手は、笛を吹き、パドルまたは片腕を振って、知らせなければならない。RCは、救助を要すると判断した場合には、救助を必要とする選手の意向にかかわらず、救助することができる。

## 20. 装備品の交換

20.1 損傷または紛失した装備品の交換はRCの書面による承認がなければ許可されない。

交換の要請は最初の適当な機会にRCに行わなければならない。

20.2 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のRCによって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にRC計測部による検査を受けた後、書面による承認を得なければならない。

## 21. 計測および装備品の検査

艇または装備品は、クラス規則と S I により、いつでも検査することがある。各レースで上位10位までにフィニッシュした艇は、RC計測艇がフィニッシング・ラインのスターボードに位置する場合には、その計測艇からの声が届く範囲に行かなければならない。艇は検査が終了するまでいかなる調整もしてはならない。

## 22. オフィシャル・ボート

22.1 オフィシャル・ボートには以下の旗を掲揚する。

○ RC艇 :

a) スターティング・ラインのスターボード側に位置するRC艇 白地に「OPクラスマーク」が表示された旗

b) RC計測艇 白地に黒で「Measurement」と表示された旗

c) 上記以外のRC艇 黄色旗

○ ジュリー・ボート : 白色旗

○ レスキューボート : 黄色旗

## 23. サポート・ボート

23.1 サポート・ボートは海上では常時ピンク旗を掲揚していなければならない。

23.2 サポート・ボートは次の条件を満たす場合にのみ使用が認められる。

(a) レースの参加申込書をRCに提出する際、併せて、サポート・ボートの使用について所定の様式により申請し、RCの許可を得なければならない。又、救助活動を除き、定員の1/2を超えて乗艇させてはならない。

(b) レースの準備信号から最終艇がフィニッシュするまでの間は、添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ってはならない。但し、レースの延期または中止あるいはゼネラルリコールの信号が発せられた場合には、次の準備信号までは上記エリアに入ることが認められる。

(c) 全てのサポート・ボートに対する救助活動要請は、RC艇に「赤十字」旗を掲揚して通告する。この要請があった場合に限り、サポート・ボートは救助活動のために添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ることができる。但し、サポート・ボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。

注. 援助はRRS 4 1 と同義語とする。

23. 3 サポート・ボートが上記 2 3. 2 (a) ~ (c) に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、そのサポート・ボートに関係する全選手の当該レースは失格となるか、または、その他の措置が取られることがある。

#### 2 4. 大会期間中の行為

本大会に参加している選手ならびにその関係者は、大会会場・宿舎等の諸施設の規則を遵守し、かつ、行動しなければならない。これらの規則に著しく違反し、その違反行為について適切な処罰が必要であると判断した場合には、グッドマナーの違反として、実行委員会はプロテスト委員会にRRS 6 9に基づき報告し、かつ、その旨をJODAの理事会に報告する。

#### 2 5. ゴミの海上投棄

艇は、海にゴミを投棄してはならない。ゴミは、サポート・ボートまたはRC艇に預けることができる。

#### 2 6. 責任の所在

本大会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS 4 参照。

本大会の主催団体等は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故（傷害・死亡等）ならびに物的事故（損傷・盗難等）について、その責任を一切負わないものとする。

以上

---

添付 1 図 「レース・エリア」

添付 2 図 「コース」

添付 3 表 「スターティング日程表」

添付 4 表 「スタート手順表」

添付 5 図 「広告表示」

添付 6 図 「ディビジョン・リボン表示」

添付1図

## レース使用海面



## 潮汐表

日	潮	満潮 (時)		満潮 (水位)		干潮 (時)		干潮 (水位)		日の出	日の入
		満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮		
10月31日	中潮	7:07	18:21	228	223	0:28	12:46	3	95	6:10	16:58
11月1日	中潮	7:47	18:51	221	218	1:03	13:19	3	106	6:11	16:57
11月2日	中潮	8:29	19:23	212	209	1:39	13:56	9	116	6:12	16:56
11月3日	中潮	9:17	20:00	201	197	2:19	14:39	20	126	6:13	16:55



添付 3表 「スターティング日程表」 Appendix 3 (to the SI) The Starting Schedule

各レースのスタートの順番とディビジョン旗の色は以下の通り。

10月31日

スタート時間	レース	順番	ディビジョン	色
13:00	1A	1(前)	1  & 4 	赤&緑
A.S.A.P	1B	2(後)	2  & 3 	黒&白
A.S.A.P	2A	1(前)	1  & 3 	赤&白
A.S.A.P	2B	2(後)	2  & 4 	黒&緑

11月1日(土)

スタート時間	レース	順番	ディビジョン	色
9:00	3A	1(前)	1  & 2 	赤&黒
A.S.A.P	3B	2(後)	3  & 4 	白&緑
A.S.A.P	4A	1(前)	2  & 4 	黒&緑
A.S.A.P	4B	2(後)	1  & 3 	赤&白
A.S.A.P	5A	1(前)	2  & 3 	黒&白
A.S.A.P	5B	2(後)	1  & 4 	赤&緑
A.S.A.P	6A	1(前)	3  & 4 	白&緑
A.S.A.P	6B	2(後)	1  & 2 	赤&黒

11月2日(日)

スタート時間	レース	順番	ディビジョン	色
9:00	7A	1(前)	2  & 3 	黒&白
A.S.A.P	7B	2(後)	1  & 4 	赤&緑
A.S.A.P	8A	1(前)	2  & 4 	黒&緑
A.S.A.P	8B	2(後)	1  & 3 	赤&白
A.S.A.P	9A	1(前)	3  & 4 	白&緑
A.S.A.P	9B	2(後)	1  & 2 	赤&黒
A.S.A.P	10A	1(前)	1  & 3 	赤&白
A.S.A.P	10B	2(後)	2  & 4 	黒&緑

11月3日(月)

スタート時間	レース	順番	ディビジョン	色
9:00	11A	1(前)	1  & 4 	赤&緑
A.S.A.P	11B	2(後)	2  & 3 	黒&白
A.S.A.P	12A	1(前)	1  & 2 	赤&黒
A.S.A.P	12B	2(後)	3  & 4 	白&緑

※A. S. A. P (as soon as practical. できるだけ速やかに、との意味  
最終日のレース(先行するディビジョンレース)の予告信号は12:00以降に発せられることはない。

添付4表 「スタート手順表」 Appendix 4 (to the SI) The Starting Races

スタートは以下の手順で行われる。

時間 Minutes before starting signal	信号 Signal	旗 Flag	音響信号 Sound
スタート9分以上前	スターティングライン設定 兼 プレ信号 Starting line fix/Pre warning	「オレンジ色旗」 ↑ Oranger Flag ↑	音響一声 1 Sound
スタート5分前	【スタート順番1】 Order1 予告信号 Warning	「ディビジョン旗」 (2 枚) ↑ Division Flags(2) ↑	音響一声 1 Sound
4分前	準備信号 Preparatory	『I』旗又は「黒色旗」 ↑ I or black flag ↑	音響一声 1 Sound
1分前	1分前信号 One-minutes	『I』旗又は「黒色旗」 ↓ I or black flag ↓	長音一声 1 Long Sound
0	スタート信号 Starting	「ディビジョン旗」 (2 枚) ↓ Division Flags(2) ↓	音響一声 1 Sound
※A. S. A. P スタート5分前	【スタート順番2】 Order 2 予告信号 Warning	「ディビジョン旗」 (2 枚) ↑ Division Flags(2) ↑	音響一声 1 Sound
4分前	準備信号 Preparatory	『I』旗又は「黒色旗」 ↑ I or black flag ↑	音響一声 1 Sound
1分前	1分前信号 One-minutes	『I』旗又は「黒色旗」 ↓ I or black flag ↓	長音一声 1 Long Sound
0	スタート信号 Starting	「ディビジョン旗」 (2 枚) ↓ Division Flags(2) ↓	音響一声 1 Sound
スタート4分後 (4minutes after her starting signal)	スターティングライン消滅	「オレンジ色旗」 ↓ Oranger Flag ↓	音響一声 1 Sound

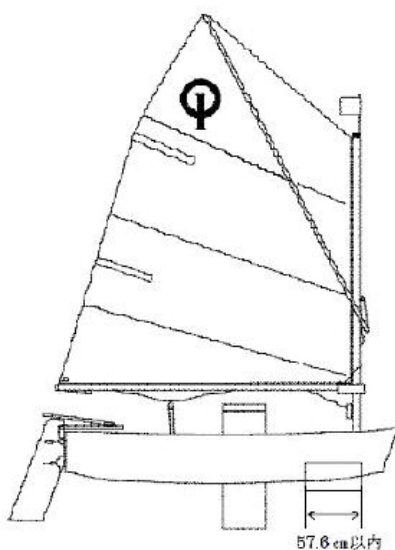
※A.S.A.P (as soon as practical. できるだけ速やかに、との意味)

信号はスターティングラインのスターボードエンドに位置するRC艇が発する。

### 添付5図 「広告表示」

S I - 1. 2の広告表示は下記の通りとする。

1. 選手は、I S A F 規定 20. 3 (d) (i) に従い大会主催団体が指定したスポンサーの広告ステッカーを、艇体の両側の指定範囲（下図参照）に貼付けなければならない。
2. ステッカーは大会受付時に配布する。
3. 大会期間中、貼付けした広告が、剥がれたり、破損した場合には実行委員会より新たなステッカーを入手して再度貼付けしなければならない。
4. ステッカーは最終レースが終了しても、大会会場内では剥がしてはならない。



### 添付6図 「ディビジョン・リボン表示」

S I - 8. 2のディビジョン表示は下記の通りとする。

1. ディビジョン・リボンをスプリットの先端に取り付ける位置は下図の通りです。  
(ディビジョン・リボンの先端をセールのループにもやい結びにする)
2. リボンは大会受付時に配布する。
3. 各艇は、「参加選手／ディビジョンリスト」に表示される色が割り当てられる。

